

令和2年度 あきた型学校評価シート
(比内支援学校)

| | |
|------|------|
| 評価領域 | 教育課程 |
|------|------|

| | | |
|-------------------|--|---|
| 重点目標 | 自立と社会参加に向けた力を育てる教育課程の編成と実施 | P |
| 現 状 | <ul style="list-style-type: none"> ・新校舎の学習棟が完成し、食品加工室や陶芸室等、特別教室が充実しているが、体育館、駐車場の工事が続いているため、正面玄関の利用が規制されている。 ・本校教育環境の特色の一つである、広大な農地を生かした教育課程を編成し、実施している。 ・居住地校交流については、小学部の希望が多く、学校間交流は各学部とも一校に絞って実施している。 | |
| 具体的な目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 地域と連携しながら自立と社会参加に向けた教育課程の実施と評価 2 新校舎や広大な農地を生かした学校特産品の開発と製作、販売 3 各学部での学校間交流と小学部70%、中学部40%の児童生徒の居住地校交流の実施 | |
| 目標達成のための方策 | <ol style="list-style-type: none"> 1 生活単元学習と作業学習を中心に地域と関わる学習活動を展開する。全校研究会や公開研究会での指導助言、教育課程検討委員会、年間指導計画検討会等を通して、授業の質の向上を図り、教育課程の評価・改善につなげる。 2 農場と食品加工室を効果的に活用したり、外部講師の指導や事業所と連携したりし、学校特産品の開発、製作、販売を行う。 3 居住地校交流や学校間交流の実施日の前に、希望に応じて障害理解授業を実施し、相手校の理解推進を図る。 | |
| 具体的な取組状況 | <ol style="list-style-type: none"> 1 各学部1回の全校授業研究会と12月の公開研究会に外部指導者を招いて、指導助言をいただいた。年間指導計画検討会を5回、教育課程検討委員会を6回実施し、教育課程の評価・改善を図った。また中学部は新たに大館市と木育で連携した学習を行った。 2 新校舎の食品加工室を活用するために、高等部に食品加工班を設け、どら焼きやシフォンケーキを新たに開発した。また農園芸班は農場から採れた野菜を乾燥野菜にし、販売することができた。その他、縫製班はマスクと型染めのハンカチ、陶芸班はワンプレート皿などの新製品を開発し、販売した。 3 小学部は、西館小学校と3回、中学部は比内中学校と1回、高等部は大館桂桜高校と3回の学校間交流を実施した。居住地校交流は小学部18名、中学部10名の児童生徒が実施した。 | |

| | | |
|-------------|--|----------|
| 達成状況 | <p>1 生活単元学習や作業学習等の「合わせた指導」において、「主体的・対話的で深い学び」の視点を生かし、各教科の重点目標を押さえながら、地域と連携する授業づくりを行うことができた。今後は「身に付けるべき資質・能力」を明らかにし、着実に身に付けられる授業づくりや、計画的に多様な「評価」を学習活動に取り入れる等が課題となった。また中学部は大館市の施設「木育ひろば」から依頼された「木のおもちゃ」や「木の家」を作製し、贈呈することができた。</p> <p>2 高等部の各作業班で外部講師からの指導や食品加工室を活用することによって、新製品の開発や製品の質の向上を図ることができた。</p> <p>3 学校間交流は各学部一校に精選して実施した。居住地校交流は小学部は78%、中学部は35%の実施率で、小学部は目標を上回った。</p> | D |
|-------------|--|----------|

| | | | | |
|---------------|---|---------------|--|----------|
| 自己評価 | <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">(評価) A</td> <td style="text-align: center;">(根拠) <ul style="list-style-type: none"> ・職員による学校評価では「自立に必要な力を育てるため、地域資源を活用した教育活動を計画的に実施する」との設問に99%の職員が「よかった」「まずまずよかった」と回答している。 ・保護者による学校評価では「地域と共に育つ活動は充実していると思いますか」との設問に96.5%の保護者が「はい」「どちらかといえばはい」と回答している。 </td> </tr> </table> | (評価) A | (根拠) <ul style="list-style-type: none"> ・職員による学校評価では「自立に必要な力を育てるため、地域資源を活用した教育活動を計画的に実施する」との設問に99%の職員が「よかった」「まずまずよかった」と回答している。 ・保護者による学校評価では「地域と共に育つ活動は充実していると思いますか」との設問に96.5%の保護者が「はい」「どちらかといえばはい」と回答している。 | C |
| (評価) A | (根拠) <ul style="list-style-type: none"> ・職員による学校評価では「自立に必要な力を育てるため、地域資源を活用した教育活動を計画的に実施する」との設問に99%の職員が「よかった」「まずまずよかった」と回答している。 ・保護者による学校評価では「地域と共に育つ活動は充実していると思いますか」との設問に96.5%の保護者が「はい」「どちらかといえばはい」と回答している。 | | | |

↑
評価基準
↓

A : 具体的な活動がなされ目標を達成できた
 B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
 C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない

| | | | | |
|-------------------|---|---------------|--|----------|
| 学校関係者評価と意見 | <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">(評価) A</td> <td style="text-align: center;">(意見) <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事が中止となったが、それでも可能な限りできる範囲で活動している。 ・外部機関、専門機関から学ぶ機会があり、その体験が子どもたちの刺激になっている。 ・これからの with コロナを想定して、地域と理解、協力し合える方法を考えてほしい。 ・子どもたちの活動をもっと発信してほしい。 </td> </tr> </table> | (評価) A | (意見) <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事が中止となったが、それでも可能な限りできる範囲で活動している。 ・外部機関、専門機関から学ぶ機会があり、その体験が子どもたちの刺激になっている。 ・これからの with コロナを想定して、地域と理解、協力し合える方法を考えてほしい。 ・子どもたちの活動をもっと発信してほしい。 | C |
| (評価) A | (意見) <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事が中止となったが、それでも可能な限りできる範囲で活動している。 ・外部機関、専門機関から学ぶ機会があり、その体験が子どもたちの刺激になっている。 ・これからの with コロナを想定して、地域と理解、協力し合える方法を考えてほしい。 ・子どもたちの活動をもっと発信してほしい。 | | | |

| | | |
|------------------------------|--|----------|
| 自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の研究成果は継続し、課題の解決策を講じながら、全職員の授業力が向上されるよう、全校研究会や公開研究会、一人一授業研を実施する。 ・新校舎と外部人材を活用した作業学習の充実を図り、学校特産品の質の向上、新製品の開発を目指す。また地域交流室を活用しながら、地域住民等と交流する機会を図る。 ・本校の行事や児童生徒の活動の様子をいろいろな機会を捉えて発信し、学校がより理解されるように取り組む。 | A |
|------------------------------|--|----------|

